様式37の２　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【令和６年度定例報告用】

褥瘡ハイリスク患者ケア加算に係る報告書

|  |  |
| --- | --- |
| 保険医療機関コード： |  |
| 保険医療機関名： |  |

|  |
| --- |
| 褥瘡対策の実績（令和６年７月の１ヶ月間の実績・状況） |
| ①　入院患者数（令和６年７月の１ヶ月間の入院患者数） | 名 |
| ②　①のうち、褥瘡リスクアセスメント実施人数 | 名 |
| ③　②のうち、褥瘡ハイリスク項目に該当する患者数 | 名 |
| 褥瘡ハイリスク項目 | １．ショック状態のもの | 名 |
| ２．重度の末梢循環不全のもの | 名 |
| ３．麻薬等の鎮痛・鎮静剤の持続的な使用が必要であるもの | 名 |
| ４．6時間以上の全身麻酔下による手術を受けたもの | 名 |
| ５．特殊体位による手術を受けたもの | 名 |
| ６．強度の下痢が続く状態であるもの | 名 |
| ７．極度の皮膚の脆弱（低出生体重児、GVHD、黄疸など） | 名 |
| ８．医療関連機器の長期かつ持続的な使用（医療用弾性ストッキング、シーネ等） | 名 |
| ９．褥瘡に関する危険因子（病的骨突出、皮膚湿潤、浮腫等）があって既に褥瘡を有するもの | 名 |
| ④　本加算を算定した人数 | 名 |

［記載上の注意］

　　１　褥瘡対策の実施状況については、令和６年７月の件数を記入すること。ただし、１名の患者が複数の褥瘡を有していても、患者１名として数えることとする。

　　２　①については、令和６年７月の１ヶ月間に入院していた患者の実人数を記入する。

　　３　②については、①のうち、褥瘡リスクアセスメントを実施した患者の実人数を記入する（１名の患者について複数回、褥瘡リスクアセスメントを実施した場合も、患者１名として数える）。

　　４　③については、②のうち、褥瘡ハイリスク項目に該当する患者の実人数を記入する（１名の患者について複数の褥瘡ハイリスク項目を有していても、患者１名として数える）。

　　５　③のうち褥瘡ハイリスク項目の各項目については、１名の患者につき、複数の要因がある場合は、それぞれに１名として数えることとする（複数回答）。